

## 2020 年度 入学者受入れの方針に照らした大学入学者選抜の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの志ふり返り（学科／研究科専攻の入学者受入れの方針）」のデータを活用した検証です。学科の入学者受入れの方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

### 学科・研究科専攻名                     情報福祉マネジメント学科

情報福祉マネジメント学科では、アドミッション・ポリシーに基づき「学びの志ふり返り」として「1. 自ら主体的に学ぼうとしている」「2. 高度な ICT スキルを身に付けようとしている」「3. 大学の内外で自らの興味や関心を活かして幅広く学ぼうとしている」「4. さまざまな問題について、「情報」と「福祉」の観点から深く考察しようとしている」「5. 問題を解決するために必要なマネジメントスキルを獲得しようとしている」の 5 項目を 6 件法によって調査し、その結果を 2017 年度、2018 年度、および、2019 年度の結果と比較することで、入学者受入方針に照らした大学入学者選抜の適切性の検証を実施した（グラフ 1～5）。

各項目における 6 件を 1～6 点に換算した際の平均値と、「ややそう思う」「そう思う」「非常にそう思う」（以下、「ややそう思う」以上）と回答した者、および、「全くそう思わない」と回答した者の全体に対する 2020 年度の割合の結果はそれぞれ下記の通りである。なお、括弧内は 2017、2018、および、2019 年度の結果である。なお、「5. 問題を解決するために必要なマネジメントスキルを獲得しようとしている」については 2018 年度の新設項目のため、2017 年度は調査を実施していない。

#### 1. 自ら主体的に学ぼうとしている

平均値	:	4.40	(2019: 4.34, 2018: 4.19, 2017: 3.98)
「ややそう思う」以上	:	95.4 %	(2019: 85.6 %, 2018: 83.3 %, 2017: 83.3 %)
「全くそう思わない」	:	0.0 %	(2019: 2.0 %, 2018: 1.1 %, 2017: 0.0 %)

#### 2. 高度な ICT スキルを身に付けようとしている

平均値	:	4.62	(2019: 4.44, 2018: 4.38, 2017: 4.08)
「ややそう思う」以上	:	95.4 %	(2019: 84.7 %, 2018: 82.2 %, 2017: 82.2 %)
「全くそう思わない」	:	1.5 %	(2019: 2.0 %, 2018: 3.3 %, 2017: 0.0 %)

#### 3. 大学の内外で自らの興味や関心を活かして幅広く学ぼうとしている

平均値	:	4.62	(2019: 4.22, 2018: 4.37, 2017: 4.06)
「ややそう思う」以上	:	95.4 %	(2019: 77.6 %, 2018: 85.6 %, 2017: 77.9 %)
「全くそう思わない」	:	0.0 %	(2019: 2.0 %, 2018: 2.2 %, 2017: 0.0 %)

4. さまざまな問題について、「情報」と「福祉」の観点から深く考察しようとしている

平均値 : 4.35 (2019: 3.87, 2018: 3.93, 2017: 3.63)  
 「ややそう思う」以上 : 93.8 % (2019: 61.2%, 2018: 71.1 %, 2017: 61.1 %)  
 「全くそう思わない」 : 0.0 % (2019: 2.0%, 2018: 3.3 %, 2017: 1.1 %)

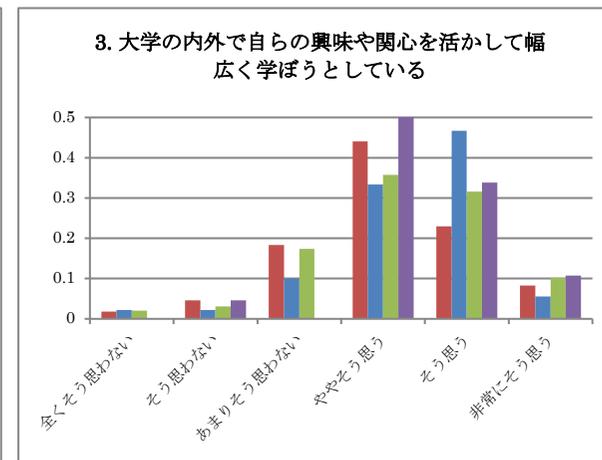
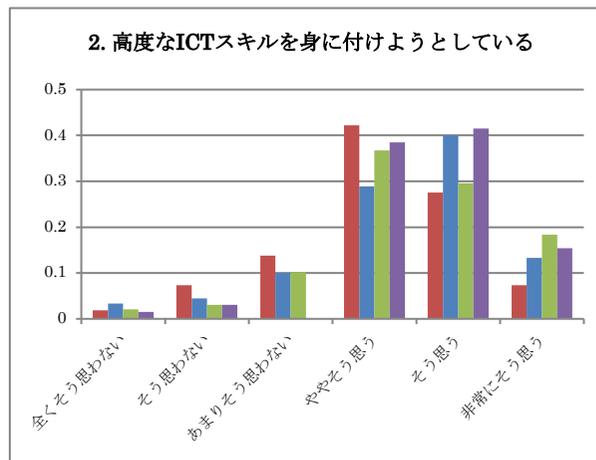
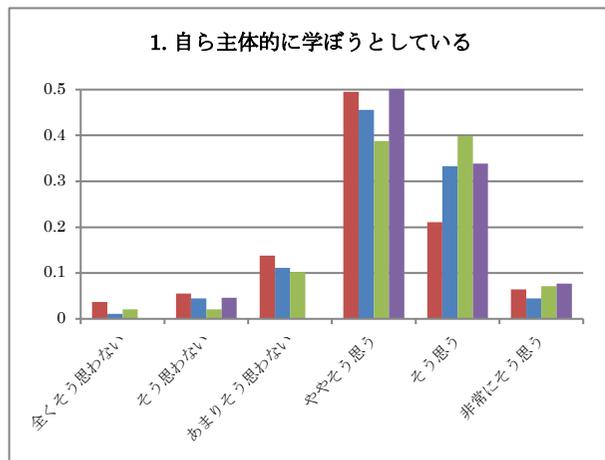
5. 問題を解決するために必要なマネジメントスキルを獲得しようとしている

平均値 : 4.58 (2019:4.48, 2018: 4.29, 2017年度は未調査)  
 「ややそう思う」以上 : 98.5 % (2019: 88.8 %, 2018: 84.4 %, 2017年度は未調査)  
 「全くそう思わない」 : 1.5 % (2019: 2.0 %, 2018: 2.2 %, 2017年度は未調査)

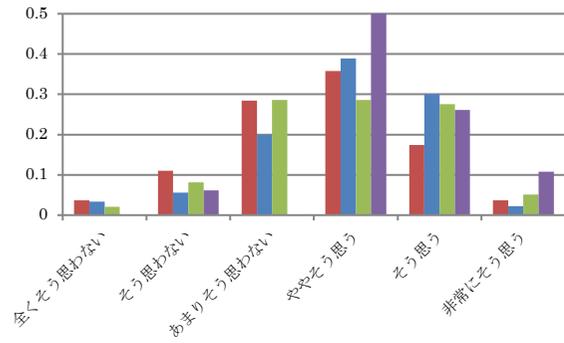
2020年度は全5項目において「ややそう思う」以上が93 %を上回り、逆に、「全くそう思わない」は5項目全てにおいて2 %を下回っていることから、情報福祉マネジメント学科はアドミッション・ポリシーに基づいた適切な学生の受け入れが実施されていると判断できる。

また、これらの値は過去3年間と比較して非常に良好な値となっている。その中でも「さまざまな問題について、「情報」と「福祉」の観点から深く考察しようとしている」の項目は平均値、および「ややそう思う」以上の回答率のいずれについても、例年と比較して、顕著に高い値となっている。例年、最も振るわなかったこの項目が改善している点は、学科 HP などを通して、この要件が意味するところを受験生にアピールできたことを示している結果であり、取り組みが功を奏していることを示唆している。したがって、取り組みの方針は適切と考えられることから、来年度以降も継続してアピールを行い、学科の求める人物像の周知をしていくべきである。

■ 2017年度 ■ 2018年度 ■ 2019年度 ■ 2020年度



4. さまざまな問題について、「情報」と「福祉」の観点から深く考察しようとしている



5. 問題を解決するために必要なマネジメントスキルを獲得しようとしている

